

令和3年度一般会計当初予算編成における財源不足の解消について

令和3年度予算編成にあたっては、令和2年9月1日の予算編成方針示達時点で、市税収入等の歳入が前年度と比較して約81億円減少すると見込んでスタートしましたが、11月の予算要求時点では、全体で約130億円の財源不足が生じることとなりました。

この財源不足を解消するために全庁一丸となって予算調製を行った結果、令和3年度一般会計当初予算案は、1,562億6,800万円となり、収支均衡した予算を編成することができました。

つきましては、この財源不足の解消にあたっての主な対応策について、ご報告いたします。

1 予算要求時点の状況（令和2年11月2日時点）

（億円）

歳入	歳出	財源不足
1,522.7	1,652.7	130.0

※この時点で財政調整基金を令和2年度と同額の16億円計上済み

2 財源不足解消への対応策

歳出事業は90億円（このうち一般財源は57.1億円）の縮減を図るとともに、財源対策による72.9億円の歳入を確保することにより、収支均衡を図りました。

（1）歳出縮減策

要求事業費の見直し及び精査等のほか、国の第3次補正予算による国庫支出金の活用による令和2年度2月補正予算への前倒しなどにより、90億円の縮減を図りました。

（主な事業）

<b>① 事業の見直し・先送りによる縮減</b>	<b>28.2 億円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（近隣・街区公園新設事業費） △3.9億円 大門公園予定地地質調査等及びその他公園用地の買戻しを一部先送り</li> <li>・（住宅環境整備事業費） △3.5億円 市営住宅の外壁等改修工事の先送り</li> <li>・（消防自動車等整備費） △3.1億円 消防自動車等の更新の先送り</li> <li>・（北部第二（三地区）土地区画整理事業費特別会計繰出金） △2.1億円 街路築造工事の着工時期の見直し</li> <li>・（自転車駐車場整備費） △1.4億円 藤沢本町駅自転車等駐車場2期整備工事の先送り</li> <li>・（遠藤葛原線新設事業費） △0.6億円 道路築造工事について先送り</li> </ul>	
<b>② 2月補正への前倒し実施</b>	<b>13.6 億円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（学校施設環境整備事業費（小・中）） △4.3億円 国の第3次補正予算に伴う小・中学校における各改修工事等の前倒し</li> <li>・（健康の森保全再生整備事業費） △2.8億円 国の第3次補正予算に伴う（仮称）遠藤笹窪谷公園整備工事の前倒し</li> <li>・（近隣・街区公園新設事業費） △2.0億円 上藤が谷公園整備工事及びその他公園用地の買戻しを一部前倒し</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (善行長後線街路新設事業費) △1.4億円 国の第3次補正予算に伴う街路新設工事の前倒し</li> <li>・ (道路施設改修事業費) △0.3億円 六会日大前駅他2駅のエスカレーター改修工事の前倒し</li> </ul>	
<b>③ 要求の精査による縮減</b>	<b>48.2 億円</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (生活保護扶助費) △13.3億円 直近の実績等に基づく見込みの精査による減額</li> <li>・ (小児医療助成費) △3.0億円 直近の実績等に基づく見込みの精査による減額</li> <li>・ (運営費繰出金(国民健康保険事業費)) △2.9億円 県への納付金確定による減額</li> </ul>	
<b>合 計</b>	<b>90 億円</b>

(2) 歳入確保(財源対策)

歳出事業に合わせて市債等の特定財源の活用を図るとともに、市税収入見込の時点修正及び国の地方財政計画の見込等により、72.9億円の財源対策を図りました。

なお、財政調整基金については、52億円を取り崩すこととしました。

(億円)

	予算要求 時点	予算案	差額	要因
市 税	755.3	778.8	23.5	見込の時点修正による
地方消費税交付金	80.0	86.0	6.0	地方財政計画等による
財政調整基金	16.0	52.0	36.0	
財産収入	11.0	13.1	2.1	不用資産の洗い出しによる
その他歳入	64.4	69.7	5.3	地方財政計画等による
合 計	926.7	999.6	72.9	

財政調整基金については、令和2年度において国の地方創生臨時交付金の活用や特例の市債借り入れを行うなどの財源対策により、年度末残高が約136億円まで確保できる見込みとなりましたので、令和3年度当初予算に52億円の取り崩しを行っても、今後の感染症対応及び自然災害への備えとして、約84億円を確保できる見込みです。

以 上

(事務担当 財務部財政課)